

# 平成 26 年度 マガレイ幼魚調査結果報告速報

網走水産試験場 調査研究部 管理・増殖グループ

## 1. 目的

オホーツク海において、カレイ類は沿岸漁業の主要対象種であり、マガレイやクロガシラガレイについては、水産試験場が資源評価を行っている。本調査で得られるマガレイ 1 歳魚の豊度は、それぞれの年級群の漁獲加入量と正の相関がみられ、資源状況を予測するのに用いられている。よって本調査は、資源動向を予測するためのデータとして、マガレイ 1 歳魚のデータを収集することを目的とする。

## 2. 調査方法

調査は、2014 年 8 月 28 日から 29 日の 2 日間において、雄武沖の網海共第 23 号共同漁業権漁場に 3 つの調査ラインを設定して行った（幌内・雄武・沢木）。それぞれの調査ラインには水深 10 m～50 m 帯に水深 5 m ごとに調査点を 9 点設けた（図 1、表 1）。調査は雄武漁協所属の第 32 盛運丸（9.7 トン）を用船して行った。各調査点において、STD を用いて水温と塩分を測定した後、桁網（開口部 180×30cm, 胴尻目合 1.3cm）を 10 分間曳網してカレイ類幼稚魚の採集を行った。

採集したマガレイおよびその他のカレイ類は船上で選別した後、冷凍して持ち帰った。解凍後、マガレイについては生物測定および年齢査定を行った。その他のカレイ類は種を同定し、地点ごとの採集個体数を求めた。

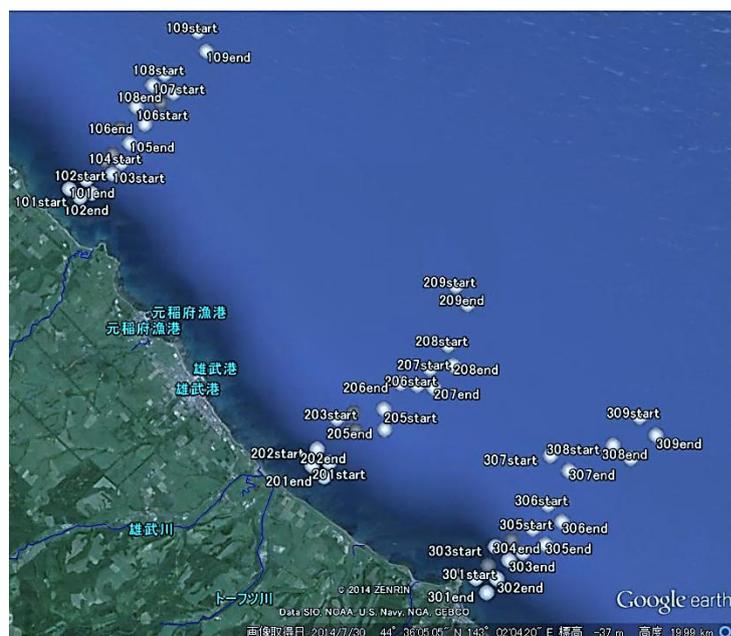


図 1 2014 年カレイ類幼魚調査の調査点

### 3. 調査結果

#### (1)採集されたカレイ類

本年度の調査では全地点合計して 931 個体（昨年度は 600 個体）のカレイ類が採集され、そのうちマガレイは 123 個体（13%）であった。最も多く採集されたのはスナガレイで（779 個体、84%）であった。その他、クロガシラガレイ（5 個体）、クロガレイ（2 個体）、ソウハチ（12 個体）、アサバガレイ（7 個体）、ムシガレイ（1 個体）、ヌマガレイ（2 個体）が採集された（表 1）。昨年度と比較すると、本年度調査では、スナガレイが多く採集された（本年度 779 個体、昨年度 482 個体）。

表 1 カレイ類の調査点別採集尾数（緯・経度は曳き始め位置と曳き終り位置）

調査点	緯度	経度	水深(m)	マガレイ	スナガレイ	クロガシラガレイ	クロガレイ	ソウハチ	アサバガレイ	ムシガレイ	ヌマガレイ	合計
101	44.64267 N	142.9184 E	9.5	0	30	0	0	0	0	0	0	30
	44.64542 N	142.9142 E										
102	44.64783 N	142.9212 E	14.5	0	69	0	0	0	0	0	0	69
	44.64373 N	142.9234 E										
103	44.64921 N	142.9318 E	20.0	0	87	0	0	0	0	0	0	87
	44.65301 N	142.9291 E										
104	44.65231 N	142.9355 E	25.0	0	44	0	0	0	0	0	0	44
	44.65513 N	142.9322 E										
105	44.66256 N	142.9354 E	30.0	5	44	2	0	0	0	0	0	51
	44.65799 N	142.9391 E										
106	44.66874 N	142.9422 E	35.1	4	46	0	0	0	0	0	0	50
	44.66331 N	142.9456 E										
107	44.67495 N	142.9492 E	41.0	2	10	0	0	2	0	0	0	14
	44.66952 N	142.9523 E										
108	44.67804 N	142.9543 E	44.2	3	7	0	1	0	0	1	0	12
	44.67226 N	142.9577 E										
109	44.69029 N	142.9686 E	49.7	9	0	0	0	0	1	0	0	10
	44.68435 N	142.9716 E										
201	44.56262 N	143.0071 E	10.5	6	53	0	0	0	0	0	0	59
	44.55928 N	143.0117 E										
202	44.56715 N	143.0095 E	14.5	1	30	0	0	0	0	0	0	31
	44.56320 N	143.0140 E										
203	44.57540 N	143.0179 E	20.0	0	51	0	0	0	0	0	0	51
	44.57205 N	143.0232 E										
204	44.57691 N	143.0245 E	25.5	4	19	0	0	0	0	0	0	23
	44.57178 N	143.0251 E										
205	44.57744 N	143.0366 E	30.0	3	14	0	0	0	0	0	0	17
	44.57168 N	143.0365 E										
206	44.58367 N	143.0504 E	34.2	4	8	0	0	0	0	0	0	12
	44.58445 N	143.0438 E										
207	44.58810 N	143.0558 E	38.8	5	3	0	0	0	0	0	0	8
	44.58273 N	143.0568 E										
208	44.59457 N	143.0635 E	43.8	5	4	0	0	0	0	0	0	9
	44.58878 N	143.0650 E										
209	44.61133 N	143.0680 E	48.5	5	1	0	0	0	0	0	0	6
	44.60597 N	143.0723 E										
301	44.52902 N	143.0689 E	11.0	1	21	1	1	0	0	0	0	24
	44.52499 N	143.0728 E										
302	44.53241 N	143.0740 E	16.5	3	27	2	0	0	0	0	2	34
	44.52861 N	143.0771 E										
303	44.53746 N	143.0773 E	20.8	6	41	0	0	0	0	0	0	47
	44.53357 N	143.0822 E										
304	44.53908 N	143.0838 E	25.0	1	83	0	0	0	0	0	0	84
	44.53546 N	143.0878 E										
305	44.54184 N	143.0924 E	30.5	4	38	0	0	0	0	0	0	42
	44.53735 N	143.0969 E										
306	44.54829 N	143.0989 E	34.5	33	26	0	0	0	0	0	0	59
	44.54340 N	143.1039 E										
307	44.56189 N	143.1012 E	40.0	4	19	0	0	1	0	0	0	24
	44.55745 N	143.1081 E										
308	44.56391 N	143.1261 E	45.5	9	2	0	0	4	0	0	0	15
	44.55991 N	143.1328 E										
309	44.57138 N	143.1375 E	50.0	6	2	0	0	5	6	0	0	19
	44.56609 N	143.1433 E										
合計				123	779	5	2	12	7	1	2	931

#### (2)マガレイの年齢組成・年齢別体長組成

マガレイは0歳魚（2014年級群）から5歳魚（2009年級群）が採集された。1歳魚以上では、1歳魚の採集が最も多く、次いで2歳魚が多かった（表2）。

表2 マガレイの年齢別採集個体数

年齢	1	2	3	5
	33 (73%)	7 (16%)	4 (9%)	1 (2%)

マガレイ1歳魚の平均体長（範囲）は66.9 mm（46.7～95.7 mm）、2歳魚は99.4 mm（90.1～112.3 mm）、3歳魚は128.3 mm（117.5～133.5 mm）、5歳魚は236.0 mmであった（図2）。1歳魚は33個体と昨年度調査の73個体よりかなり少ない結果であった。

今回のマガレイ幼魚調査のデータは、今後収集・整理される漁獲統計や漁獲物年齢組成・資源加入尾数の推定値などとともに、石狩湾以北日本海～オホーツク海海域におけるマガレイの資源評価に活用される予定である。

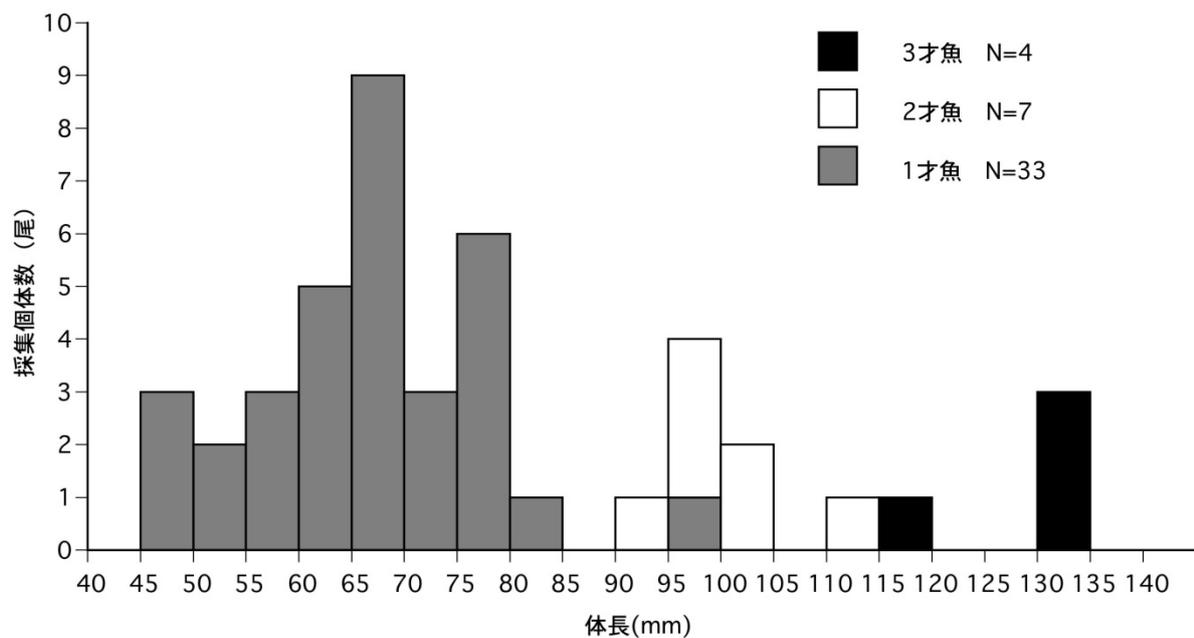


図2 マガレイの年齢別体長組成